

第11回「コンソーシアム研究開発助成金」 ～総額3,000万円 15プラン決定!～

株式会社池田泉州銀行（頭取 藤田博久）では、「地方創生」につながる取組みの1つとして、平成16年より、地元中小企業の「事業の多角化」や「第二の創業」の柱を育て上げるための「産学官が連携した研究開発」を応援する「コンソーシアム研究開発助成金」を運営しております。

この度、第11回「コンソーシアム研究開発助成金」として、15プラン（別紙）へ総額3,000万円を贈ることを決定いたしました。

平成26年11月4日（火）から平成26年12月24日（水）にかけて募集を行い、25大学、3高専、6公設研究機関等とコンソーシアム事業を形成する地元中小企業から、合計**53プラン**のご応募をいただきました。選定にあたっては、各プランの「研究開発体制」「技術上の競争力」「市場性」「採算性」等について、独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部、大阪中小企業投資育成株式会社等、技術・産業事情に精通した6名の委員からなる「評価委員会」に審査を委嘱し、採択プランを決定しております。

なお、採択した15プランの応募企業は、大阪府10社、兵庫県1社、京都府3社、和歌山県1社となっております。制度創設以来、全11回の累計応募数は、**632プラン**となりました。また**採択プラン総数は160**を数え、助成金総額は**3億3,000万円**を超えました。

採択企業の内、これまでに1社が上場、53社には約120億円の融資を通じて資金面からの応援もさせて頂いております。

池田泉州銀行は、助成金制度やこれまで構築してきた産学官ネットワークを通じて、今後も地元の皆さまとの連携を深めながら、「地域経済の発展」と「仕事の創造」のお役に立つよう努めて参ります。

以上

（ご参考）池田泉州銀行の助成金制度の概要

名称	コンソーシアム研究開発助成金	ニュービジネス助成金
制度開始	平成16年～ 計11回募集	平成15年～ 計15回募集
目的	① 中小企業の「事業多角化」、「第二の創業」の柱を育成 ② 中小企業と大学等との事業化を目指す共同研究開発の促進	新規性・独創性のあるビジネスプランを有する企業、起業家の発掘・育成
助成対象	事業化を目指している“共同研究開発プラン”	事業化段階にある製品や技術などの“ビジネスプラン”
助成金額	【総額3000万円】 300万円を上限に個々のプランを査定し金額を決定	【総額1000万円】 大賞300万円 優秀賞100万円 奨励賞50万円
これまでの実績	受賞総数 160先 助成総額 約3.3億円	受賞総数 166先 助成総額 約1.2億円
次回募集期間(予定)	平成27年11月上旬～12月下旬	平成27年5月下旬～7月下旬

第11回コンソーシアム研究開発助成金 採択15プラン
(50音順)

採択企業 (所在地)	研究開発テーマ	連携大学・ 公設研究機関
株式会社アースクリエイト (大阪市)	可燃ごみとして扱える炭酸カルシウム配合樹脂フィルムの開発	大阪大学
アスカカンパニー株式会社 (兵庫県加東市)	顕微鏡下部より照射できる多点独立照射システムの開発	甲南大学
株式会社雨風 (堺市)	栄養強化麴(糀)を用いた食品の製造とその事業化	大阪府立大学
株式会社ウィリルモバイル (京都市)	スマートフォン近距離無線通信技術による京都府の外国人、日本人観光客の行動履歴データの取得と活用	九州大学
株式会社漢方医科学研究所 (大阪市)	認知症予防に有効な薬草由来新規機能性食品の探索	大阪市立大学
小畑産業株式会社 (大阪市)	クリーンな新規触媒による酸化技術及び機能性色素製造技術の開発	大阪府立大学
コラジェン・ファーマ株式会社 (京都市)	再生医療用オーダーメイド人工コラーゲンマトリックスの開発	早稲田大学
株式会社ジェイタス (大阪市)	病原菌・ウイルスの現場検査用ポータブル超高速遺伝子検査装置の開発	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
株式会社新日本テック (大阪市)	超薄型 PCD ブレード加工技術の開発	地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所
日本カノマックス株式会社 (大阪府吹田市)	気液二相流計測装置ソフトウェア開発	静岡大学
パイクリスタル株式会社 (大阪市)	高性能有機半導体結晶塗布装置「連続エッジキャスト装置」の商用化開発	東京大学
株式会社ハイペップ研究所 (京都市)	唾液を検体とする新規検査法のためのバイオチップ開発	甲南大学
特定非営利活動法人メディカル指南車 (大阪市)	セマンティック・ウェブ技術を用いた医療画像診断支援システムの開発	関西医科大学 大阪市立大学
山本勝之助商店 代表 山本 芳栄 (和歌山県海南市)	山椒の香辛成分の利用開発	和歌山大学
株式会社山本金属製作所 (大阪市)	加工プロセスイノベーションとなる最適加工条件導出機器の開発	同志社大学

【コンソーシアム研究開発助成金 応募件数・採択件数の推移】

	第1回 (平成16年)	第2回 (平成17年)	第3回 (平成18年)	第4回 (平成19年)	第5回 (平成20年)	第6回 (平成21年)	第7回 (平成22年)
応募件数	64件	24件	43件	50件	36件	59件	71件
受賞件数	18件	14件	11件	13件	12件	16件	15件

	第8回 (平成23年)	第9回 (平成24年)	第10回 (平成25年)	第11回 (平成26年)	合計
応募件数	84件	80件	68件	53件	632件
受賞件数	14件	15件	17件	15件	160件

【第11回内訳】

分野別内訳		
ものづくり	19件	36%
バイオ・医薬	17件	32%
IT・通信技術	7件	13%
環境・エネルギー	3件	6%
サービス・福祉他	7件	13%
合計	53件	100%

応募者の地域別		
大阪府	34件	64%
兵庫県	6件	11%
京都府	10件	19%
和歌山県	3件	6%
合計	53件	100%

連携大学・研究機関の種別		
国公立大学	30件	55%
私立大学	16件	22%
高専・高校	3件	5%
公設研究所等	9件	18%
合計	※ 58件	100%

※ 1件で複数の大学等と連携のプランがあるため、応募総数と連携機関累計総数は一致しません。